

令和２年度第３回富田林市入札等監視委員会議事録（会議の概要）

- １ 開催日時 令和３年２月１６日（火）午前９時１５分～午前９時５５分
- ２ 開催場所 市役所２階 第２委員会室
- ３ 出席者 委員３名、工事担当課６人、事務局４人
- ４ 開催形態 公開（傍聴人 人）・**非公開**・一部公開（傍聴人 人）

【非公開・一部公開の理由】

会議の公開に関する指針３．（３）該当

- ５ 審議の経過及び委員会等の結果等 全文筆記・**要点筆記**・議事要旨
次第

- （１）委員の委嘱、会長の選出及び入札制度の説明
- （２）入札及び契約手続きの運用状況等について（令和２年１０月～１２月）
 - ①工事の発注状況について（報告）
- （３）発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議

令和２年度

- ① 「（R2-農）喜志地区水路改修緊急突発工事 その２」
- ② 「（2）北大伴町地下埋設物調査」
- ③ 「R2・3 加太一丁目水道管敷設替え工事」
- ④ 「（R2-浸）川面町排水路改修工事」
- ⑤ 「（R2-交）桜井１号線舗装工事」

【委員】 この契約件数あるいは契約金額を去年あるいはおととしの数字と比較するとかなりさがってきていると思うのですが、コロナの影響でしょうか。

【事務局】 コロナの影響はあると思います。

【委員】 例えば２年前の平成３０年の同時期１０月から１２月までの総件数が９２件になっている。去年が７４件です。今回が５５件で平均落札率を見ると、おととしが９１．３２％、去年が９０．６４％、今年が８９．８９％とこうしてみると件数が減ってきたら、入札も高い金額ではなく低い金額になってきているのである意味よくなっているのかなという感じもするんですが、去年の１０月はコロナで令和元年はまだコロナではないですね。だから他に理由があるのかなという気はするんですが。そういう分析はされておられないのですか。

【事務局】 落札率だけでいいますと、条件付一般競争入札と比べると随意契約はちょっと高く

なっていますので、どういう形のバランスになってるのかその中身を確認しないと今下がっていると仰っていただきましたが、その辺はわからない部分があると思います。件数に関しましては把握しておりません。

【委 員】 わかりました。

【委 員】 今回ひとつの業者が随意契約で多数の工事を受注しておられて、目立ったので選ばせていただいたのですが、まずこの業者を選定するときにあちらこちらに入っているのは単なる偶然なのですか。

【事務局】 この業者は①は緊急突発工事でそれ以外の工事については、業種がそれぞれ異なっており、②は土木工事、④はとび・土工工事、⑤は舗装工事ということで、随意契約により業者を選定させていただいてるんですが、この業者はそれぞれの業種で登録されていることから、選定される案件数は増えてきます。土木の業種だけ登録しているよりは選定される案件数は増えてきます。たまたま同時期で同じ業者がとる形にはなっていますけれども。機会としましては、土木でも登録させていただいておりますし、他の業種も登録しておられまして、この会社だけを多く指名しているわけではなくて、土木は土木の中で受注機会が均等になるような形で選定をさせていただいております。

【委 員】 たまたまということなんですかね。

【事務局】 全体の中から偏りがないように選定はさせていただいてるんですけども、④と⑤は発注時期がほぼ同時期であり、両方とることでスケールメリットを生かすことができ、予定価格より低い価格で競争しやすかったことも考えられます。

【委 員】 割と頑張った値段を出されるんですね。

【事務局】 そうですね。

【委 員】 ⑤の入札状況で、ある業者は予定価格をオーバーしているのはどういうことなのでしょう。予定価格は出しているんじゃないですか。

【事務局】 出しているんですけども、その業者のアピールかどうかはわかりませんが、その値段でしかできないということをあえて出しているのかなと。真意はわかりませんが、見積の値段はそれで入れてきておりますので。

【委 員】 前もありましたね。この業者であったかどうかはわかりませんが。

【事務局】 もっと大きな案件であったと思います。

【委 員】 普通その場合であれば辞退でしょ。

【事務局】 税抜き税込みは間違っていないと思うのですが、この金額ではできないということで辞退なんですけど、自分のとこでできる金額を書いておられるのか、その辺の真意

は確認していないのでわかりません。

【委員】 ②の埋設物調査ですが、これは何の工事に伴う調査ですか。

【担当課】 下水道工事に伴う調査です。

【委員】 下水道工事をする場合はいつも埋設物調査をされるんですか。

【担当課】 机上で例えばガス管がどこにあってN T T管がどこにあって、離れててスペースが充分1 m以上確保できるという場所であればもちろんしないんですけども。水道管やN T T管が不明な部分がありまして、その位置や高さをわからなければ下水道管を埋設できないので、先に入っている地下埋設物がどの位置どの高さにあるかを先に調査して、道のどの部分で下水道管を入れるスペースがあるかを確かめてから下水道管を後で埋設するという事前の調査です。

【委員】 4か所やっておられますね。4カ所でいけるわけですか。例えば調査箇所が①から④まで4カ所ありますけどもその①と②の間とかは。

【担当課】 だいたい水道管でもN T T管でもまっすぐ通ってますので、その間であれば下水道管は入るであろうという部分での事前調査です。

【委員】 掘るわけですか。

【担当課】 掘ります。最初80 c mくらいは機械で掘ってから、あとは水道管が出てくるであろうというところはスコップで人力で掘ります。

【委員】 特殊な機械は使わないんですか。

【担当課】 使わないです。手作業です。管をわってしまったらどうにもならないので。

【委員】 ①の水路改修工事ですが、民地は私有地ですね。私有地の土砂が流れ込んだということですか。

【担当課】 水路の側壁と底版の間が老朽化で隙間ができてしまいまして、そこから民地内の土を水路の水で吸い出すような形で民地内が陥没するというような状況になったので、市の方で復旧することになりました。

【委員】 水路が原因でなっているということですか。

【担当課】 はい。

【委員】 わかりました。⑤の点字ブロックなんですが、図面ではわからないんですが、何か近くに福祉施設があるのですか。

【担当課】 その通りです。

【委員】 わかりました。

【会長】 他にございませんか。

【委員】 ③ですが18者が応札されて全部最低制限価格で札を入れておられて、これは抽選

ですか。

【事務局】 抽選です。

【委 員】 今ご説明があったように水道管を耐震性の高いものに順次変えていってるということで、業者からしたら1年の内にこれだけ工事がでてくるであろうということで多分おいしい工事であれば、これだけ入札してこられると思うのですが、一定の期間で落札された業者さんに偏りがいないかというようなチェックはしておられますか。今回はこの業者が落札したけど、違う場所の同種工事で、また同じところが落札していないとか、きれいに割り振られてないとか、そういうチェックとかは。

【事務局】 それはしてないです。

【委 員】 抽選だからそういうことはないんですね。

【事務局】 抽選なので操作のしようもないので、我々もわかりません。結果的に何件かをとるということはあるかもしれないですが。

【委 員】 それは操作できないですね。もしやるとしたら工事の施工の段階で、隠れて下請けに入るとかそれくらいですかね。そこまでは今回入札に問題はないからチェックできない。

【委 員】 最低制限価格をもう少しさげることはできないですかという話もあるんですけど、基準があつてということだと難しいですね。

○ 開催日程等について

(1) 次回の開催日時について

(2) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について